

いちょう並木

OKAYAMA UNIVERSITY MAGAZINE



OKAYAMA
UNIVERSITY

岡大のノーコード開発 情報発信アプリ&ウェブ 「岡大メディア(OTD)」を開発



CONTENTS

岡山大学の研究誌 認知脳科学 楊家家

広い世界で活躍する岡山大学の学生たち OU NAVI

令和2年度「学生スポーツ賞」と「学生文化奨励賞」受賞者紹介
ありたい未来を共に育み、共に創る「共育共創コモンズ」

アイデアを形に！
岡大の（）→□→ド開発

ノーコード開発による

『岡大メディア（オウデイア）』を開発！

—ITスキルや知識を持たない非エンジニアでもwebサイトやアプリを開発できる技術「ノーコード」をご存知でしょうか。従来の方法と比べ開発速度が速く、コストも安価。人材不足にも貢献でき、地方の課題解決につながる可能性があるといわれています。

『岡大メディア（O-T-D）』は、岡山大学院社会文化科学研究科1年）がノーコードで開発しました。』岡山大学の価値ある情報届け、可能性を最大化することを目的に、岡大学生の運営メンバー6人が記事を更新しています。

現役岡大学生の交流の場としてはもちろん、入学希望者に向けた魅力発信、地域の方々を繋ぐメディアとして活用していきます。

岡山大学では、DXや数理データサイエンス教育を推進しており、2021年4月には、データサイエンスとアイデアで新たな価値の創出を目指す、学生団体「D-S部」を結成しました。ノーコードでアプリを作るハッカソンを開催するなど、文理や学年の枠を超えて、問題解決に挑んでいます。

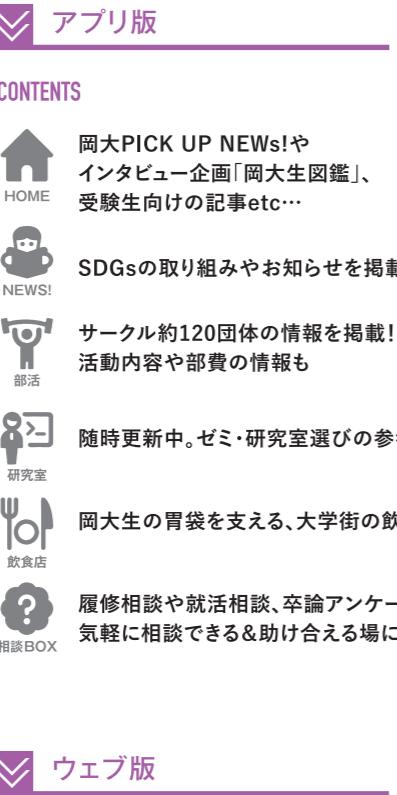


What's NoCode? —

コーディング（プログラミングコードを記述する作業）なしでWebサイトやアプリなどを開発する技術。直感的な操作かつ短期間で「誰でもアプリ開発ができる」と、世界的にも注目を集めています。日本では、就職活動の最終面接に落ちた学生を企業間で推薦・採用できるプラットフォーム「ABABA」が話題を呼びました。

ノーコードの
メリット

- 開発費用が安く、開発速度が速い
 - 修正速度が速く、バグの改善や機能開発も容易
 - IT人材不足に貢献



「ノーコード」を軸に活躍する岡大卒の3人のノーコーダーたち

「ノーコード」を軸に活躍する岡大卒の3人のノーコーダーたち。現在進めてるプロジェクトやアイデアの源、今後の展望などについて尋ねました。

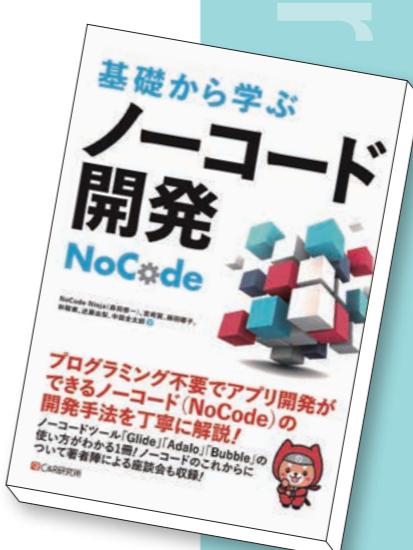
File 01

『デジタル化DIY』で、多くの人のITアレルギーを払拭したい！

藤田 曜子さん



岡山大学法学部卒業。学生時代にアート系の分野で起業し独立。避難所アプリや筋トレ日記アプリなどの開発や、「基礎から学ぶノーコード開発」の書籍を共著するなど、岡山を中心活動を広げている。合気道3段、茶道茶名。趣味は、乗馬やスクーバダイビング、旅行などで、一番好きなのは事業。情報収集は、オンライン・オフライン両方から。
HP: <https://yokof88.com/>
Twitter: https://twitter.com/yokof_88



▼現在の仕事について教えてください。

アプリ開発、事業構築運営全般、各種講習会などをしています。ノーコード界隈において周りを見ていると、ノーコードに興味を持ち学習し続けられる人たちは、ほとんどがエンジニアリングに興味がある人またはITエンジニアだということに気が付きました。そのため、今は『デジタル化DIY』を広げる、というノーコードの2歩ほど手前の『ITアレルギーを払拭して自分で身の回りのことをデジタル化しよう』という活動や教育事業をしています。

▼アイデアの源は？

もともと起業家気質で、アイデアは山ほど出てくるタイプです。息を吸うように企画やアイデアが湧き出ますのでそこに苦労したことはありません。ただし実現不可能ともいえる壮大な夢を持つてしまう性質ですので、その実現化には世界最先端の情報を常に追っていなければなりませんし、夢の本質を見つけることも重要になってきます。

▼今後の展望を教えてください。

『デジタル化DIY』を広めることです。アナログ人間でも『デジタル化DIY』をはじめの一歩として、デジタル化やITへのアレルギーを無くし、そこからノーコードに移行したりプログラミングやエンジニアリングの扉を開いてほしいと思っています。

▼学生時代について教えてください。

アート系の分野で起業していましたので、その活動に夢中でした。日本中世界中を飛び回り、寝食も忘れて没頭しました。一方で本の虫でしたので、岡大の図書館が好きすぎて「24時間開放・シャワールームもつけてほしい」と要望していたほどでした。政治や芸術を中心に『世界をより良くするには?』をテーマに研究していましたし、今でもそこは変わりません。

message

メタバースな世界はもう始まっています。常に新しい技術や情報への関心を持ち、自分で実際に触れてみる、使ってみる、作ってみるという実体験を持つことは大切です。起業家はアレもコレもしなければならないので大忙しになりがちですが、そこはデジタル化DIYで自動化したり仕組化したりして乗り越えられます。外注するにも自分で一通りやってみたことがある、という経験は大いに活きます。

File 02

最新の技術を使って自分の仕事にブレイクスルーを起こす！

山口 真司さん



平成22年3月岡山大学工学部卒業。岡山県内のベンチャー企業に役員として参画、新規webサービスの開発を行った後、2012年の円高によるオフショア開発チームへの転職でベトナム・ホーチミンでオフショア開発会社を立ち上げた。プログラマとして個人でアプリ開発・運営を始め、ノーコードの情報をYouTubeやnoteにて発信。趣味は、筋トレ、プログラミング。情報収集は、Twitter、YouTube、NewsPicks、はてなブックマークから。
Twitter: https://twitter.com/_shinji_

▼現在の仕事について教えてください。

ベトナム・ホーチミンでオフショア開発会社を立ち上げ、プログラマとして個人でアプリ開発・運営をしています。コードを書く形での開発を本業にしているので、ノーコードは趣味の位置付けになりますが、noteやYouTubeやTwitterでノーコードに関する発信を行いました。noteは累計25万アクセス、YouTubeはチャンネル登録者数が1万2千人まで増えました。2021年はノーコードの発信は一旦休止し、コードを書いて作る個人開発プロジェクトに力を入れています。

▼企画実現までのモチベーションは？

日々の生活で不便に思うことや、世の中のトレンドで今後伸びると思われる業界などの情報収集をしています。まだ他に誰もやってないことを成し遂げる達成感を常に持つことがモチベーションの維持に繋がります。Only oneの自分しかできない価値提供を今後も続けたいです。

▼企画実現までのモチベーションは？

日々の生活で不便に思うことや、世の中のトレンドで今後伸びると思われる業界などの情報収集をしています。まだ他に誰もやってないことを成し遂げる達成感を常に持つことがモチベーションの維持に繋がります。Only oneの自分しかできない価値提供を今後も続けたいです。

▼今後の展望を教えてください。

ノーコード(特にBubble)で開発したサービスで、コーディングに劣らないプロダクトを量産し、Bubbleの国内普及を拡大する活動を行いたいです。

▼学生時代について教えてください。

工学部の活動である「学生フォーミュラ」の一員でした。学生だけでフォーミュラカーを設計し、製作・テストを行い、年に1度の全国大会に出場する活動です。広報やスポンサー集めの渉外活動も行い、学生

ながら社会人のような疑似体験をさせてもらいました。社会人になった今も、プロジェクト管理にはこの経験が活きていると思います。また、学生時代に英語学習が染み付いていたため、海外の情報収集も抵抗なくできています。

message

プロフェッショナルであることは大切ですが、その領域を飛び越えて、複数のプロフェッショナルな

他の人材を活用し、目標を達成することができる“巻き込む力”が大切だと思います。つまり、感情や考えを言語化し発信する力が必要ということです。

新しいことにチャレンジし続けることが得意な岡山大学で、学生たちも次々に新しいチャレンジができる文化を作りたいです。学生時代の失敗はその後どんなことがあってもプラスに働く経験値になります！

File 03

感情や考えを言語化し発信！自分しかできない価値提供を



中田 圭太郎さん



平成31年3月岡山大学工学部卒業。ノーコードの受託開発会社Evlick合同会社を経営。ノーコード専門の日本最大のオンラインサロンで講師を務めるほか、株式会社ABABAのエンジニア(CTO)として自社サービスの開発も行なっている。NoCodeCamp認定Bubbleエキスパート。世界最大ノーコードコミュニティ「Makerpad」主催コンペで日本人唯一入賞経験あり。神戸市在住。情報収集は、SNS(Twitter)がメイン。Twitter: https://twitter.com/NoCoder_K
会社HP: <https://www.evlick.co.jp/>

▼現在の仕事について教えてください。

ノーコードの受託開発会社を経営しています。また、ノーコード専門の日本最大のオンラインサロンで講師を務めるほか、ABABAというスタートアップのエンジニア(CTO)として自社サービスの開発も行なっています。今後はノーコード人材の教育事業などにも力を入れる予定です。

▼企画実現までのモチベーションは？

日々の生活で不便に思うことや、世の中のトレンドで今後伸びると思われる業界などの情報収集をしています。まだ他に誰もやってないことを成し遂げる達成感を常に持つことがモチベーションの維持に繋がります。Only oneの自分しかできない価値提供を今後も続けたいです。

▼今後の展望を教えてください。

ノーコード(特にBubble)で開発したサービスで、コーディングに劣らないプロダクトを量産し、Bubbleの国内普及を拡大する活動を行いたいです。

▼学生時代について教えてください。

工学部の活動である「学生フォーミュラ」の一員でした。学生だけで

フォーミュラカーを設計し、製作・テストを行い、年に1度の全国大会に出場する活動です。広報やスポンサー集めの渉外活動も行い、学生ながら社会人のような疑似体験をさせてもらいました。社会人になった今も、プロジェクト管理にはこの経験が活きていると思います。また、学生時代に英語学習が染み付いていたため、海外の情報収集も抵抗なくできています。

message

プロフェッショナルであることは大切ですが、その領域を飛び越えて、複数のプロフェッショナルな

他の人材を活用し、目標を達成することができる“巻き込む力”が大切だと思います。つまり、感情や考えを言語化し発信する力が必要ということです。

新しいことにチャレンジし続けることが得意な岡山大学で、学生たちも次々に新しいチャレンジができる文化を作りたいです。学生時代の失敗はその後どんなことがあってもプラスに働く経験値になります！

認知脳科学

楊家家

最先端の脳イメージング技術を駆使し
謎に満ちたヒト脳の解明に挑む。



学術研究院ヘルスシステム統合科学学域
研究准教授

楊家家 (よう かか)

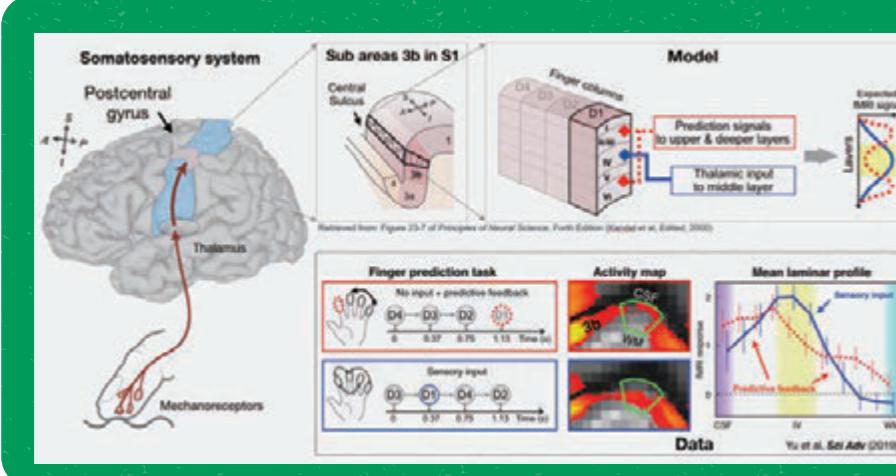
■専門分野／認知脳科学／超高磁場MRI

昭和56年生まれ。中国出身。香川大学大学院工学研究科修了。博士（工学）。岡山大学博士研究員・岡山大学助教・米国国立衛生研究所（NIH）客員研究員などを経て令和3年より現職。中国・四国工学教育賞優秀賞（平成26年4月）、CME2015優秀論文賞（平成27年6月）、岡山大学工学部研究功績賞（令和2年4月）

本研究は、創発的研究支援事業に採択されました。（令和3年）

神経変性疾患の病因解明・早期診断・ 予防・治療に向けて。

現在40歳の楊研究准教授。2003年に来日し、香川大学の留学生時代に認知心理学と出会った。「ヒトはどうにして手にするものを見覚認知しているか」という素朴な疑問を抱きつゝ、身の回りにある物の質感に焦点を当てて研究を続け、2010年、岡山大学に着任後は本格的に脳科学の手法を取り入れ、これまでの研究を深めていった。2016年に米国国立衛生研究所（NIH）脳イメージング方法セクションの客員研究員となり、7テスラ超高磁場fMRIを用いたヒト大脳皮質層活動計測法の開発など、国際共同研究が始動。「高齢化が進む中、認知症をはじめとした疾患でたくさんの方が苦しんでいます。私たちの研究が早期の発見方法や装置の開発など、人々の幸福につながることを信じてこれからも研究に努めたい」と話す楊研究准教授。その温厚な瞳に強い意思を感じた。



楊研究准教授たちは、これまで独自に開発したレイヤーfMRI撮像法の高空間分解能を生かして、動物研究の知見を基に提案したヒトの皮質層間の情報処理モデルを検証してきた。その最新成果として、厚さわずか2mm程度のヒト第一次体性感覚皮質の中層に触覚信号が入力され、高次領野からの予測フィードバック信号が上層と深層へ投射されることを明らかにした。(Yu et al. Sci Adv, 2019)

研究は、そうしたギャップを埋めることができ、種を超える比較と多階層かつ横断的に検証することで、ヒト脳の全容解明を目指しています」。現在、筋萎縮性側索硬化症（ALS）の新たな治療法開発に挑む学術研究院医歯薬学域脳神経内科学の山下徹准教授とも連携し、自らの基礎研究と臨床レベルとの相乗効果を図っている。「いつか、どこかで基礎研究の成果が花開く。どこかで必ず転機が訪れる」と話す楊研究准教授。脳神経疾患の世界では、基礎研究の成果がそのまま臨床に還元されない状況が多く、ヒトの謎に多面的に挑む楊研究准教授への期待は益々高まっている。



私たちヒトの脳は、約1000億個もの膨大な数の神経細胞が多段階の階層構造を形成する複雑な生体情報処理システムだ。機

能要素である神経細胞は、それぞれの階層で神経回路を形成、高度な情報処理を行うことにより、多様な脳機能を可能としている。これまでの研究では、神経回路の破綻が、認知症やうつ病などの神經精神疾患を引き起すとされ、それゆえに脳の各階層における神経回路の動作原理の理解、それに基づいた病因解明や予防治療法の開発は、世界的に高齢化が加速する今、極めて重要な課題と言われている。

こうしたなか、長年にわたって「謎多きヒト脳の解明」に挑み続けている楊家家研究准教授は、その研究内容と意図をこう説明する。

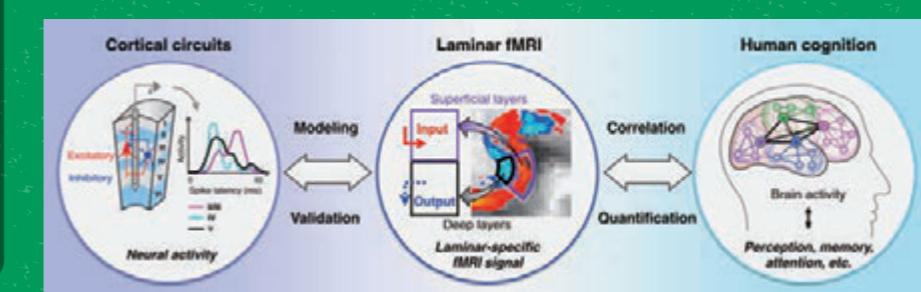
「私たち、最先端の『7テスラ超高磁場・機能的磁気共鳴画像法（fMRI）』を駆使して、大脳皮質層間の神経回路機能の理解を通じて、ヒト脳の多階層な機能の解明を目指しています」。

ヒトの大脳表面は、厚さ2～4mm程の灰白質で覆われており、特徴的な形態と役割を持つ神経細胞が6層のレイヤーを成しています。この

秩序だった神経回路により、ヒトは学習や記憶といった高度な情報処理を実現していますが、ミクロレベルの脳機能の理解は、侵襲を伴う動物研究に頼っているのが現状です。近年、fMRIによる非侵襲脳イメージング技術の発達により、

ヒトの様々な精神活動をマクロな脳機能に結びつけて理解することが可能になりましたが、ミクロとマクロ両面からの脳機能の理解という点では、未だ大きなギャップがあります。私たちの

研究のポイント
2
ヒトの第1次体性感覚皮質の層別活動パターンの計測に成功



本研究では、ヒトの大脳皮質層の活動を計測できる7TレイヤーfMRI技術を用いて、ミクロとマクロの間のギャップを埋めることができる期待できる。また種を超える比較と多階層横断的検証を可能にすることにより、ヒト脳の多階層な機能の解明が期待されている。(Yang et al. Neurosci Biobehav Rev, 2021)

研究のポイント
1

ミクロからマクロまで、脳機能の階層を超えた統合的解明を目指す

放送文化部

Broadcast Culture

2つの受賞作に込めた
自らの素直な想い。

全国の大学・短期大学・専門学校などに所属する学生を対象とした放送のコンテスト「第37回NHK全国大学放送コンテスト(通称「大学Nコン、またはNコン」)」本選が2020年12月5日、京都アスニー(京都市中京区)で開催され、本学放送文化部がラジオ番組部門で1位、映像CM部門で2位に輝いた。同部は前年の同「コンテストでも映像番組部門で1位を獲得しており、2年連続の快挙達成となつた。今回の本コンテストは、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、事前収録が可能なアナウンス・朗読・音声CM・ラジオ番組・映像CM・映像番組部門に限つての開催となり、全国の71団体が355作品を応募。予選を通過した作品が本選で1位を競い、本学放送文化部は作品「踏み出した先に」がラジオ番組部門46作品の中で1位、作品『伝つて』が映像CM部門36作品の中で2位となつた。

受賞した2作品の企画・編集・ナレーションなど中心メンバーとして作品作りに携わった越智悠葵さん(法学部3年)が制作への経緯・作品に込めた想いをこう話してくれた。
『踏み出した先には、2020年の6月に本学で行われた『コロナがなんじや!WIN&WIN』学生プロジェクトに取り組む学生たちの姿を取

り上げたものです。このプロジェクトは、新型コロナウイルスの影響を受けた本学の学生と地域の飲食店双方を支援するプロジェクトで、主にプロジェクトを発案した横澤希さんの活動にスポットを当て、視聴者に新しいことを始める勇気』を持つてもらいたい

という願いを込めて作りました」と語る越智さん。もう一つの受賞作『伝』は、越智さん自身がコロナ禍で孤独感を抱えていた頃、作品を通して部員や友人とのつながりを感じられた実体験をベースにしたもので、『苦しくても決して自分はひとりじゃない』というメッセージが込められているそうだ。

やりたいことをやる権利を得るために学業にも一生懸命励む。

現在、法学部3年の越智さんは中四国で初めて設置された「法曹コース」に在籍中。「法曹コース」は法曹を志す人達に、法学部と法科大学院の間でより効果的な一貫教育を提供することを目指した制度で所定の条件をクリアすることで、3年で大学を早期卒業し、法科大学院の「法學既修者コース(2年)」に入学することが可能だ。ただそれだけに学



第37回 NHK全国大学

放送コンテストで

1位・2位を獲得!

越智 悠葵

法学部 3年

活躍する

広い世界で



岡山大学の
学生たち



岡山大学の
学生たち

ピアノとの出会いは5歳、
以来磨き続けた
技量とメンタル。

優美で華麗なショパンの音楽を通じて、国際レベルの演奏家を発掘・育成することを目的とする「ショパン国際ピアノコンクール「コASIA」」2021年1月18日、第22回となる当コンクールのファイナルステージで本学医学部医学科5年生(現在6年生)の中田征希さんがショパンピアニストB部門で銀賞に輝いた。コロナ禍という困難な状況下で行われた当コンクール、今回は初のオンライン開催となったが、中田さんは幼い頃から磨き続けた技量を發揮、地区予選、全国大会、国際大会進出を決め、今回の決勝に至つた。

ピアノとの出会いについて尋ねると、「3歳の時に音楽教室に通い始め、その後、母がピアノを弾いていたこともあって、5歳の時に始めました」と話す中田さん。以来、高校生の時、少し休んだ時期もあったが本学ではピアノ部にも所属し、週1回1時間のレッスンを欠かさず続けてきたとのこと。医学科生としての多忙な学業との両立については「昔から集中力はある方です。コンクールのように人に聴いてもらう、人と競うのも好きです」と晴れやかに笑う。加えて「ピアノは世界的に評価される楽器、スポーツのようににはつきりとした優劣ではありませんが、いい意味でア

in ASIAで銀賞を受賞!

第22回 ショパン

国際ピアノコンクール

能性を広げていけたらと思つています」と話す中田さん。大学の後輩たちに伝えたいメッセージとしては「10代から20代にかけては、多感で密な時間がたくさんあります。怠惰に過ごすではなく、具体的に何がやりたいか、自分の気持ちに抗うことなく過ごしてほしい。そのためにはみんなと過ごす時間、自分が一人の時間、楽しみ、やりがい、それらをバランスよく保つことが大切。大学4年間でぜひ自分の価値を見出してください」と言い切る。作曲家が想い描いた風景やその時の感情に想いを巡らせることで音楽の豊かさ、楽しさが伝わると話す中田さん。「学生生活の大成として名譽ある賞を頂けて幸いです。今後、多くの方々に演奏を聞いていただけるよう、自分の音楽と向き合い続けたいと思います」と取材後もピアノの練習に向かう姿が印象的だった。

医学生として、ピアニストとして自分の価値を見出した大学6年間。

現在、医学部医学科の6年生、今後のことを見ると、「医学部を選んだのはたまたま18歳の時に医学に興味があったから。将来のことはまだいろいろ思案中です。卒業後の目標としてはまず医師免許を取得すること。医療人として社会に貢献できる存在になりたい。そのためにもいろいろな面で自分の可

岡山大学は、SDGs推進研究大学として、地域や企業の皆さま方とのパートナーシップをもとに様々な協働活動に取り組んできました。令和3年4月の新工学部の誕生に続き、皆さまとの協働を一層充実させる「共育共創コモンズ」を岡山大学キャンパス内に建設します。

監修は、世界的な建築家であり、本学の特別招聘教授としてご指導ご支援をお願いしている隈研吾氏です。

地域の産業活性化のための新たな交流と共創の場として、300人収容の大規模講義室と共同研究拠点としての「共創ラボ」機能が重点的に設計されています。

「共育共創コモンズ」の建設を契機に、アフターコロナ時代に向けて、「ありたい未来を共に育み、共に創る研究大学」を目指していきます。

「共育共創コモンズ」

建築家・隈研吾氏監修

令和4年11月
完成予定!

岡山の
新たな
シンボル



模型作成・提供:岡山大学特別招聘教授 隈 研吾

- 建物概要／木造2階建て、延べ床面積約810m²、講義室・企業との共同研究室・レンタルラボ等
- 総事業費／約5億円(物品整備等経費含む)
- 建設場所／岡山大学津島キャンパス東門正面より北に約150m

Special message

岡山大学特別招聘教授 隈 研吾 氏

岡山大学共育共創コモンズは、CLTを活用した木造建築物の可能性を追究しました。岡山大学の学生が、いろいろな人のいろいろな意見や価値観を受け止めることのできる、大きくてやさしい人になってほしい願いを込めて設計しています。建築物は大きいけれど、その仕事はたくさん的人が協力して、小さなことの積み重ねでできていることを、この原寸大の教材から学んでください。

20世紀は、「密なハコ」にたくさんの人間を詰め込むことで効率を追求してきました。コロナの疫病は、それが人の幸せにつながらないことに気づかせてくれました。コロナの後を生きるみなさん、この「木のハコ」で、人が本当に幸せになれる新しい生き方を考えてください。



Photo © J.C. Carbone

What's CLT?

CLT(Cross Laminated Timber)は、ひき板を並べた後、繊維方向が直交するように積層接着した木質系材料です。これまでの木造建築は戸建住宅等の小規模建築が主でしたが、CLTは大規模建築を可能とします。森のような温かみと清々しさを感じる空間を実現します。



一般社団法人日本CLT協会 提供

「共育共創コモンズ」は、みんなのイノベーション空間です。



※講義室のイメージ(2階)



共育共創コモンズ建設へ向けてのご寄付のお願い

地域や企業の皆さまと、交流し学びあい、新たな知を生む「岡山の新しいシンボル」の建設に向け、ご寄付を広く募っています。ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。(岡山大学学都基金)

【募集期間】令和3年6月11日～令和4年8月31日

【募金目標額】1億円

※本事業へのご寄付は、所得税法、法人税法による税制上の優遇措置が受けられます。

武田／モデルナ社 新型コロナワクチン接種後副反応調査最終報告

～男女半々の若い世代を対象とした2回目接種はどのような結果なのか～

REPORT

新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種に関して、一般の方へ正確な情報提供を行うことを目的に、大学拠点接種として岡山大学で行われた、武田／モデルナ社新型コロナワクチンの副反応調査を実施しました。岡山大学教職員及び学生の合計7,205人が副反応調査に回答しました。

2回目接種後は、局所反応として、接種局所の痛みが90.0%、腫脹が55.3%に出現。遅延性皮膚反応とみられる接種後7日目前後での局所の腫脹や発赤は、1回目接種後に2~3%前後に出現しましたが、2回目接種後にはほとんど認められませんでした。

2回目接種では、1回目と比較して全身反応の出現頻度が高く、筋肉痛が64.4%、倦怠感が84.2%、頭痛が74.7%、37.5度以上の発熱は88.0%で出現。若い世代で発熱の出現頻度が高い傾向で、40代以下では90%前後に発熱が出現しましたが、一方60代以上でも75.4%に発熱が出現しました。

女性では男性に比べて副反応が若干高い傾向(例:発熱で約2%差)でした。妊娠や基礎疾患があることで、副反応出現頻度が高まる傾向ではなく、アレルギー歴があっても微増程度でした。また、武田／モデルナ社ワクチンの副反応割合は、岡山県内の5病院で実施したファイザーウクチンの接種後副反応調査結果よりも高く、若い世代(20歳代以下)で比較しても、同様の傾向がありました。

厚生労働省の研究班でも副反応調査が行われていますが、その対象者は男性数が多く幅広い年代にわたっている自衛隊職員が対象であり、本調査の対象は男女半々で、若い方が多く含まれているため、厚生労働省の研究班の知見と相補的に働くと思われます。



報告をまとめた学術研究院医歯薬学域
賴藤 貴志 教授



岡山大学文明動態学研究所開所式を挙行

ESTABLISHMENT

本学は令和3年4月、4番目の研究所となる岡山大学文明動態学研究所を新設し、4月14日開所式を挙行しました。開所式には横野博史学長、高橋香代理事(企画・評価・総務担当)、松本直子文明動態学研究所長ら教職員約20人が出席しました。

横野学長は「多様なパートナーシップで文理横断的な研究の発展、国際的人材交流、地域社会との連携が促進されることを期待しています」、松本研究所長は「さまざまな分野の連携により、課題解決の糸口が見えてくる。文明動態学という新しい学問を全国、そして世界に広げていきたい」と話しました。

本研究所では、考古学、歴史学、人類学、経済学、社会学、哲学等の人文社会科学を核とし、本学および国内外諸機関の地質学、生物学、化学、物理学、神経科学、情報科学等の研究者との緊密な連携のもとに人類文明の来し方・行く末を探求します。



企業の人事担当者から見た 大学イメージランキングで、岡山大学が 中国・四国1位に！

RANKING

日経HRと日本経済新聞社による、「企業の人事担当者から見た大学イメージ調査2022年度版」で、中国・四国地域において岡山大学が総合ランク1位(全国17位)に輝きました。調査は、2019年4月～2021年3月に新卒社員として各企業が採用した正社員の出身校から人数の多い上位10校を上げ、その上で各大学の学生のイメージについて「行動力」「対人力」「知力・学力」「独創性」の4つの側面で評価されました。

本学は、「知力・学力」や「独創性」が評価され、全国順位も前年41位から大幅に上がりました。人事担当者からは、「素直で、地頭がよく理解が早い」「真面目で、努力家」などの声があがりました。

岡山大学病院にECMOを搭載できる 大型救急搬送車「ドクターカー」を配備

NEW SYSTEM

8月31日、人工心肺装置「ECMO(エクモ)」を搭載できる大型の救急搬送車「ドクターカー」を配備しました。当院の調べでは、全国で同様のドクターカーは現在10台あり、中国・四国地方では初めての導入となります。重症呼吸不全などの患者が発生した場合、ECMO装着を行った状態でドクターカーでの広域搬送が可能となります。当院では今後、要請に迅速に応えられるよう、体制を整えていきます。

このたび配備したドクターカーは、医師や看護師、臨床工学技士などの医療従事者が乗り込み活動を行います。一般的な救急車よりも車内が広くなっています。ECMOなどの高度医療機器を用いた重症患者さんの搬送に使用することができます。車内にはECMOを含め、自動体外式除細動器(AED)や自動心臓マッサージシステム、人工呼吸器などの医療機器を整備し、搬送時から早期に治療介入ができるよう、整備を進めています。

車両は、公益財団法人「日本財団」からの助成金を活用して購入しました。車体外観の装飾は、岡山大学病院の職員による広報チーム「岡大病院“Face”活性化ミーティング」メンバーの本多寛之医師(総合内科・総合診療科)のデザインで、波のような曲線は船舶の航走波をイメージしており、ドクターカーがスピードで移動する様子を表しています。

2022年度からの本格的な導入を目指して、岡山県内はもちろん、近隣県で重症患者が発生した場合に、広域搬送ができるよう体制を構築していく予定です。



法学部公認サークル「岡山大学法友会」が、消費者庁「消費者支援功労者表彰」の内閣総理大臣表彰に選ばれました

AWARD



消費者利益の擁護・増進のために活躍する方々を表彰する、消費者庁の令和3年度「消費者支援功労者表彰」が4月28日発表され、法学部公認サークル「岡山大学法友会」が、筆頭となる内閣総理大臣表彰に選ばれました。

本表彰は消費者支援活動の奨励のため、平成23年度の消費者庁創設から毎年行われています。

法友会は現在47人で、平成29年度から、近隣の中学・高校に出向き継続して法教育・消費者教育を実施。授業では岡山県消費生活センターの教材を用い、「コンサートチケットをダフ屋から購入することが法的に問題になるか」「ネット上のどのような書き込みが法的に問題になるか」といった事例について、ロールプレイやグループワークを交えながら授業を開催しています。今回、地域社会の消費者教育に貢献してきたことが高く評価され、消費者支援功労者表彰の中でも、極めて顕著な功績があったと認められる個人・団体に授与される「内閣総理大臣表彰」の受賞が決まりました。

文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)」に認定

CERTIFICATION



6月30日、本学の数理・データサイエンス教育の取組の一部が、文部科学省より「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)」に認定されました。

この認定制度は、内閣府・文部科学省・経済産業省の3府省が連携して設けられています。大学等の正規の課程であって、学生の数理・データサイエンス・AIへの関心を高め、かつ、数理・データサイエンス・AIを適切に理解し、それを活用する基礎的な能力を育成することを目的として、数理・データサイエンス・AIに関する知識及び技術について体系的な教育を行うものを文部科学大臣が認定及び選定して奨励するものです。

岡山大学は、令和元年度から「文系から理系までの学生を対象とする数理・データサイエンス教育プログラム」を展開しており、この度の第1回目認定において、「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)」11校のうちの1校に認定されました。

大学の動き(2021年3月～8月)	
2021 3月	10日 ● 「SDGs推進表彰(President Award)」表彰式を挙行 15日 ● 异分野基礎科学研究所の沈副所長・教授が日本植物生理学会賞を受賞 25日 ● 令和2年度岡山大学学位記等授与式を挙行 29日 ● 医学部・大学院医歯薬学総合研究科・岡山大学病院が笠岡市・笠岡市立市民病院と地域医療に関する協定を締結
4月	2日 ● 令和3年度岡山大学入学式及び大学院入学式、第4回金光賞授賞式を開催 21日 ● 「THEインパクトランキング2021」公表 総合ランキングで世界トップ200位以内、国内同列1位に 22日 ● 株式会社アン・ドーと連携・協力に関する協定を締結
5月	20日 ● 岡山県商工会連合会と連携・協力に関する協定を締結
6月	11日 ● 限研吾特別招聘教授による新工学部設立記念講演会を開催
8月	6日 ● 岡山大学Webオープンキャンパス(オンデマンド方式)の動画を公開 19日 ● 国連平和大学との協定締結式典を開催 31日 ● JETROと岡山県商工会議所連合会との三者包括連携協定を締結

1枚の写真から紐解く、岡大の歴史。
誰かにそっと教えてくなる…そんなエピソードとともに紹介します。

岡大 OU Pictorial History

モノクローム #01



いちょう並木 (昭和43年)

初夏には深い緑、秋には黄金色に輝く南北通りのいちょう並木。
地域の皆さんにも、散歩道、撮影スポットとして親しまれています。
約50本のいちょうの木は、林道倫初代学長が昭和27年7月に退官した際、寄贈したもの。
林先生は、東京帝大卒業、ドイツに3年間留学した後、当時の岡山医科大学精神科教授に就任しました。
日本脳炎研究や統合失調症の生化学的研究で高名です。
博識は古今東西に及び、概念明晰、論旨透徹であったといいます。
「すべて過ぎ去たことは一つの譬喻にしかすぎない」という言葉を遺しています。
(参考:林道倫論文集)



岡山大学広報 いちょう並木

より良い広報誌を作成するために、皆さまからのご意見・ご要望をお待ちしております。

発 行：岡山大学 総務・企画部 広報課

〒700-8530 岡山市北区津島中一丁目1番1号

Tel. 086-252-1111 Fax. 086-251-7294

E-mail www.adm.okayama-u.ac.jp

<https://www.okayama-u.ac.jp>

岡山大学

検索



アンケート実施中!
先着5名様に
「基礎から学ぶノーコード開発」
プレゼント!

